

図書館だより

今月の新刊を紹介します。

問 タルイピアセンター ☎23-3746 FAX 23-3745

開館時間：午前10時～午後6時（学習室は午後5時まで）

休館日：9/1(月)、8(月)、16(火)、22(月)、25(木)、29(月)

おばあちゃんのあおいバラ

(由美村嬉々、森みどり絵、ポプラ社)



新種のバラを作り出す「育種家」の仕事をしている、ゆいのおばあちゃんの夢は、「青いバラ」を作ること…。みんなに不可能とされている「青いバラ」を作る夢をかなえようとするおばあちゃんと、それを応援する孫の物語。

もしも自然災害が起こったら

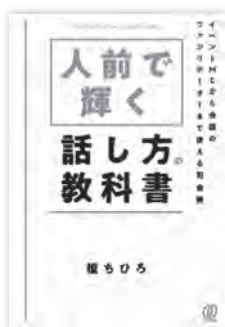
(国崎信江監修、岩崎書店)



大震災、気象災害、避難所、ウィルス・細菌…。自然災害で起こる思いがけない「もしも」の状況で、大事な命を守るためには何をどうすればいいのか。ベストな判断と行動ができるよう、クイズ形式でわかりやすく解説する。

人前で輝く話し方の教科書

(榎ちひろ、ぱる出版)



司会力を身につければ人生が変わる! 司会者としての心構えや考え方、実際に司会者として人前に立つ際に役立つテクニック、一流司会者になるための応用テクニックなど、人前で話すことに役立つ司会術を紹介する。

暦のしずく

(沢木耕太郎、朝日新聞出版)



宝暦8年、日本の芸能史においてただ一人死刑に処せられた人物、馬場文耕。士分を捨て貧乏長屋に住まい、軍記物を講釈した、知られざる男の生涯を鮮やかに描き出す、著者初の長編時代小説。『朝日新聞be』連載を単行本化。

お知らせ

- ▶テーマ展示「涼しい本 ～快適に過ごせるヒント～」「おばけ だいしゅうごう!」「がんと健康」「防災の日」
- ▶絵本のよみきかせ会 毎週土曜日 午後2時から
- ▶読みたい本が図書館にない場合は、リクエストサービスをご利用ください。
- ▶図書館利用の際には、マイバッグをお持ちください。

入館者数と貸出冊数

R7. 7月	入館者数	7,611人
	貸出冊数	14,223冊

紹介文：TRC MARC

歴史探訪

開発で消えた古墳

高度経済成長と言われた昭和三〇年代には、高速道路や新幹線など大規模な開発が次々に行われました。日本で最初の高速度道路である名神高速道路は、昭和三十三年（一九五八）に京都市山科区で起工式が行われ、昭和四〇年（一九六五）に、小牧・西宮間の全線が開通しました。

昭和三十七年（一九六二）、垂井町でも名神高速道路建設工事に伴い、栗原地区で土取工事が行われました。この工事により、工事区域に所在していた栗原古墳群、大平古墳群に所属する多くの古墳が破壊されました。ブルドーザーによる土取工事と並行して、いくつかの古墳については、名古屋大学と岐阜県教育委員会により緊急で発掘調査が行われました。調査の結果の一部については、調査報告書などで公表されましたが、大平古墳群の調査結果については、長らく報告されませんでした。最近になって、この時の発掘調査で収集された遺物や写真、調査記録の再整理が行われ、いままで知られていなかった古墳の情報が分かってきました。



▲大平古墳群発掘調査風景

文化財の保護体制が整う前の垂井町には、道路の建設や田畑の開墾などで消えてしまった文化財が、このほかにもたくさん存在していたのです。

『垂井町史』通史編・史料編

タルイピアセンター、役場会計窓口、文化会館で販売中 各4,000円